

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	耐風設計小委員会		主 査 名：田村幸雄 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)		委員長名：和田 章 主 査 名：神田 順
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	外装材の耐風設計の重要性和飛散物の問題を再確認し、材料施工の専門家との議論も含め、外装材を中心とする耐風設計法のあるべき姿について調査研究する。 ・2006 年度 外装材の風被害例の調査と問題点の抽出 ・2007 年度 外装材に着目した耐風設計法、性能試験法、性能確保のための方策		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	田村幸雄(東京工芸大学), 奥田泰雄(建築研究所), 浅見豊(大成建設), 植松康(東北大学), 大熊武司(神奈川大学), 大竹和夫(竹中工務店), 片桐純治(泉創建エンジニアリング), 河井宏允(京都大学), 喜々津仁密(建築研究所), 菊池浩利(清水建設), 近藤宏二(鹿島建設), 谷口徹郎(大阪市立大学), 田村哲郎(東京工業大学), 西村宏昭(日本建築総合試験所), 吉江慶祐(日建設計)		
設置 WG (WG 名：目的)	・CFD耐風設計法WG:CFD 技術の耐風設計への応用上の問題点抽出作業を行う。 ・指針風荷重ソフト化WG:建築物荷重指針・同解説(2004)のソフトを作成する。 ・外装材耐風性能WG:外装材被害の実態, 外装材風荷重の把握, 外装材耐風性能の試験法, 飛散物の問題などを検討する。		
2006 年度予算	380,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	・定例委員会 3 回(年度内計画を含む) ・準備委員会 1 回 ・合同委員会 1 回、屋根被害軽減化小委員会(非構造部材の地震・風被害軽減化特別研究委員会)との情報交換のため
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 強風災害シンポジウム「2004 年の強風被害とその教訓」(2006.9.15) 参加者数 68 名 (災害委員会と共催, 小委員会として全面的に協力) 参考図書:「2004 年の強風被害とその教訓 強風被害が残したもの」
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 外装材被害の実態調査や飛散物の問題に関し, ほぼ計画通りに進んでいる。 2. 風荷重ソフト WIND04 がほぼ完成し, これもほぼ予定どおりに進んでいる。 3. CFD の耐風設計への応用上の問題点が抽出され, 当初計画を達成している。
委員会活動の問題点・課題	1. 特になし